

令和 2 年度 市政懇談会 2 日目（要約）

- ・ 日 時 令和 2 年 11 月 6 日（金）19 時 00 分～21 時 30 分
- ・ 場 所 さぬき市本庁 3 階 301・302 会議室
- ・ 出 席 者 市長、副市長、教育長
市民部長、生活環境課長（司会）、生活環境課担当
市連合自治会 津田・北山・志度・鴨部・鴨庄・末・小田支会長

一般参加 2 名

傍 聴 1 名

- ・ 議 題 (1) 市政報告
(2) 連合自治会各支会から市政への提案・意見等について

- ・ 議事内容 以下のとおり。
開会にあたり、市長の挨拶。
続いて、市長より市政報告があった。
前日と同様に、市政報告後、連合自治会支会より自治会の市政への提案・意見等について、市長に対し質問をし回答を得ることとした。
津田支会、小田支会、末支会、鴨庄支会、志度支会、末支会、の順に 1 問 1 答による質問等を行った。

●津田支会の提案・意見

「空き家対策はどれくらい進んでいるのか、公営住宅も含め確認したい。」

「津田川について、河川内に樹木が生えている。樹木が成長し、大雨の際に水流が阻害され、被害が発生すると思われる。県に要望しているとのことだが、早く解決するよう進めて欲しい。」

「津田でもサルが出てきている。猪、サルの被害が拡大しないよう何か対策はないか。」

●市長の回答

住宅の除却は、個人の空き家と公営住宅の空き家がある。

個人の空き家は国・県の制度を活用し、取り壊しを年間 20 件程度行っている。

予算が限られているなか、対象物件が現在、65 件程度あるが、これを倒壊の危険性が高いものから実施したい。

公営住は入口が狭小であり緊急車両が進入し難い箇所、そこに居住の方が減少し、火災の危険性が高くなっている場合等、取り壊しを進めてきたところである。

しかし、まだ残っているのは把握している。

また、個人が居住していて権利関係で、他の場所への移転を進めるものの移転先の賃料等費用の関係で破談となったものもある。

全て法律で解決できる訳ではないが、協力を得て除却するほうがメリットがある場合、今後も進めていきたい。

津田川に関しては、県への要望をしている。

ただ、職員にも話をしているが自分達は行政サービスをする立場でモノを考える癖がついている。

国、県、市、住民はどこであれ実施して貰えたらという意向である。実際、河川は長く広いのでなかなか対応が困難である。

少しだけ堆積物の浚渫をしてもまた雑木が生えてしまうという状況があるので、県とも話をして優先順位が高い箇所から実施し、実現できたということを積み重ねていきたい。

道については木の枝が垂れ下がり、バスに接触して困る場合に対応した案件もある。

県に要望したので、これで終わりというのではなく県から具体的な回答を得て、次に何が出来るのかを実施していきたい。

有害鳥獣でも猪は注目をされ、柵を設置する等の方策をしているが必要な箇所が出来ているとは言い難い。

サルはなかなか対策が困難である。サルは群れで活動している。群れを一網打尽にする必要がある。

県でも学者に研究を依頼している。今年、前山地区でも試験的に対策を実施するとのことである。

猟友会の協力を得て、猪は捕獲後、保管庫に保管している。

サルは効果的な防止対策、駆除対策を検討しこれまで以上に被害を減らすように努めたい。

●小田支会の提案・意見

「空き家対策、補助制度はあるのは理解する。
市の予算はどれくらいあるのか」

「小田地区では、昨年度空き家が火事で焼失した。そこに家族が居住していた。その後、一旦知り合いの家で居住していたが、再度、焼失した家に戻り居住するようになっている。
社協にも何とかならないのかと相談している。
焼失した家屋はなんとかならないものか。」

「小田地区のプールの水の入れ替え、防火用水ではないので対応が困難である、また教育委員会にも相談しているが、水の入れ替え等に40万円程度必要との話もある。
なんとかならないものか。」

「防火用水としての活用方法とかいろいろな案を頂いているがどうすれば良いか」

「有害鳥獣で捕獲後の保管庫は市に整備していると聞くがどうか。」

「本地区をどうしたいか、小田地区は努力して頑張っているので

引き続き市の後押しをお願いしたいという地元の意見である。」
「大串半島の整備に関し、大串自治会長から市から自治会に一度だけ話に来たと聞いたが、地元自治会から支会に対し内容を確認しにくる方がいる。

事前に支会に対しての説明があっても良かったのではないか。」

「ゴミの不法投棄対策について（防犯カメラが必要ではないか、投棄者と思われる車を見かけたが声掛けは不安である、設置に関する警察の補助はあるようだが、維持コストの負担がどうにかならないのか）。」

「鴨部・鴨庄支会にも関係するが旧志度東中学校の東側の跡地、石砂利の部分が市所有なので、舗装等の対応をして欲しい。（広域消防の駐車場としての活用もある）。」

●市長の回答

個人住宅については市も予算枠があり、全てが出来る訳ではないが条件を満たしたもの、危険性が高い等のものを年間 20 件程度実施している。

焼失した家屋の件については、どういった理由がありそこに居住しているかは分からないが、余程の事情があるのではないか。

セーフティネットがあるので、十分に相談して頂きたい。

以前からあった制度を無理に現状に当て嵌めようとすると不都合が生じるのではないか。

自助・公助・共助の議論が必要である。

プールの件については、理屈の面で事前回答しているようだが、地元にプールがあることで良い点があるという面があれば、25 メートルプールの水を貯めるのに、40 万円も・・・。

●生活環境課長の補足回答

調査した結果、費用は 10 万円で出来るとのことである。

●市長の回答

プールを残していて事故があった場合どうするのか、それでも残しておくほうが地元の役に立つのであれば担当に相談頂ければ、私も話を聞く。

プールの活用についてどのようなメリットがあるか話をし、消防の面だけではなく種々な方法を探りたい。

有害鳥獣を捕獲した後の保管施設は既に整備し、運用している。場所は鴨部地区の元の屯所跡である。

そこに国の補助を受け、冷凍庫を設置している。

猪は様々な場所に出没しているが、駆除を継続することで被害拡大をなんとか防止したい。

大串半島は、瀬戸内海でも風光明媚な良い場所である。

観光者にとって癒される場所をつくりたい。

大串半島、芝生広場に自然に配慮した建物の基本設計を行っている。

基本設計が固まらなないと地元で説明し難いという面があり

説明が遅くなったことについてはお詫びする。

議会からも大串半島に建物を建築するのは良いが、上手くいっていないので十分に検討して実施するようにと言われている。

建築家も大串半島を気に入っており、「時の納屋」を建てたいと。

基本設計にすすむにもいくらかクリアしないといけない課題があると思っているので、早い段階で説明する機会を設けたい。

また、大串半島が最寄り駅から遠方であると思っている方も多いのでPRも行っていきたい。立ち寄れる拠点を設けたい。

地元で丁寧な説明をすればとの提案であるので、十分に対応したい。

ゴミについては、不法投棄をする不心得者が一定程度存在する。

防犯カメラは一定の抑止的な機能を果たすものとする。

最近は家電リサイクルに費用がかかり、人がいない場所に不法投棄する者がいるとは聞いている。

防犯カメラを設置することで、効果がある、暮らしやすくなるというものであれば設置を検討したい。

旧志度東中学校の跡地の件で、記念碑については卒業生の思い出もあり作らせて頂いた。

西消防署の移転の際に広域消防として必要な面積は使用して頂く、それ以外、記念碑に来る人が広域周辺を車で通行出来ればということで、広域とも話をしてセキュリティも配慮しつつ、駐車場として整備するというのは考え方の一つである。

使えるものは使うという再利用の考え方は必要である。

全く新しくしてしまうというのは、どうかと考えている。

敷地の有効利用については、地元の方に喜ばれる使い方を考えたい。

●末支会の提案・意見

「官民一体となったデジタル化の推進について。」

「ふるさと納税で農産物、海産物を含めたものの出品は可能か。」

●市長の回答

デジタル化については香川県選出議員がデジタル担当大臣になり、首相もデジタル化推進を打ち出している。

地方公共団体にも来年度からどのようなデジタル化に取り組むのかということが重要な課題となってくると思われる。

デジタル化で必要なものは将来的な構想と、現在、対応できない方を切り捨てることはしないで、うまく運用していくことである。

本日の市政懇談会でも紙を利用しているが、市議会ではタブレットを活用している。

市政懇談会でもタブレットを活用する方法を検討する必要があるかもしれない。

デジタル化はあくまで手段であって、なんでも新しくすれば良くなるという訳ではない。

何のためのデータ化か、無駄を省き無駄から生じたものを他の予算等に充てることが本来であると思う。

広報誌は現在、紙であるが無駄という意見を頂いている。

配布せず、市役所に置いておき、来庁頂くようにする。

取りに来ていない方への対策をすること、その無駄を省き他の必要なものへ廻すようにすべきであると。

一人ひとりの選択に応えるようにするときにはデジタル化は非常に力を発揮すると。

本日、出席の方をお願いしたいのは、マイナンバーカードを出来るだけ普及するよう努めて頂きたいと。

色々な特典をつけて、普及するようにしているがなかなか進展していないが、上からのデジタル化ではなく皆さんで議論しながら進めるデジタル化であればもっと良いものが出来るのではないかと。

余力を必要なものに使えないかということを考えつつデジタル化を進めてまいりたい。

ふるさと納税に関しては、一定の経費が必要である。

経費を今まで最小限にしていた。

しかし、ある方から三木町や東かがわ市は費用が多くかかっているかもしれないが、申し込みが10億円あり経費が6億円かかったとしてもいくら残るのだと。

今行っているのは、効率が良くても収入分が少ない状況であると。

仲介業者に頼み、全体額を増やそうとしている。

さぬき市を応援したいが返礼品で良いものが無く応援できないという方もいるようである。

登録品の幅を広げているので、「さとふる」で物品を出して頂ければ選択できるようになっているので、シャインマスカットや桃の返礼品を出したいという具体的な希望があるのであれば、申し出て頂きたい。若手を中心として返礼品を魅力的なものとしたいと考えている。

●鴨庄支会の意見・提案

「平成21年に当時の鴨庄支会で支会要望として出したものを今回も出している。10年前から話が進んでいない。

事業に関しては県との関連があるのは理解しているが、特に早く話を進めて貰いたいものは、県道志度津田線と、横井ふたご線が交差している北の渡った箇所付近が未着手である。

早急な整備が必要である。

今後の地震対策や台風時、高潮対策を進めたいという事前回答だけでは、不足、不安である。

堤防の土地は個人の土地があるとのことで、そこに要請することで事業が進む可能性があるという。

要請するというだけでは困る。

また 10 年間、事業が進捗しないのでは困る。危険な交差点である。

更に川尻に進むと、流れ橋がある。

橋は短いが直角に曲がっている。橋幅は狭い。

橋の東側には自治会、住宅があるが橋が狭いので直角に曲がる必要がある。

根本的な橋の架け替えが必要ではないかと思う。

長浜から新開にかけての地域の全体的な高潮対策をお願いしたい。

また、新開、白方、小方地区に消防の屯所があるが、数年前に一箇所統合してはどうかという話があった。

現在、雇用促進住宅のある辺りである。

雇用促進住宅は耐震化が出来ていないので解体をするという予定であったと、その跡地を活用すると。

そこに三地区の屯所を統合するのが良いという話になっていた。

当時より話を進めていたが、昨年、耐震化していない状態の雇用促進住宅に民間会社ののぼりが出て、入居者募集ということになった。

そこで、屯所の移転先が決まらなくなった。

今後、新開、白方、小方地区の高潮に影響される屯所の移転先についてなどの計画を確認したい。

市道川西ふたご線、統合した北小学校、幼稚園もある。潮位があがると堤防から漏水の危険性がある、いつまでも放っておけない、地元からも県に対し強く堤防改修要望を要請されている。

小田支会から話のあった、西消防署の土地の利用管理の関係は同じように強く要請する。

三支会としても管理するのは困難なので利用方法について検討頂きたい。

志度、小田、津田線については一部やっと着手されてきた。

小方地区で今後の方線については県には答えが無いようである。

しかし朝晩の通行者が多いので事故は発生している。

時間はかかると思うが、県との協議を継続して貰いたい。

●市長の回答

平成 21 年の市政懇談会の際にも要望頂いている、それから 10 年が経過し、ほとんど未着手であるとの意見であった。

これについては、話が膠着している点についてはお詫びする。

安心・安全の観点から何とか進めたい。

少なくとも年に1回は地元で事業進捗に関し地元で報告しないと、支会も状況がどうなっているのか分からない。

市に要望して全然物事が進まない、支会も地元から誤解される。自治会活動に対する意欲を無くしてしまう可能性がある、地元に対し報告をすること、また、出来ることを一つからでも実現すること、が必要である。

消防署の件は、広域と協議し何であれば出来るのかを探りたい。

志度、小田、津田線については県との協議等を心つもりとする。

●志度支会の意見・提案

「志度公民館の進捗状況について。」

「県立高校の三校の統廃合の市長の考えについて。」

「国道11号線の交差点拡張工事の今後の進捗状況について。」

●市長の回答

公民館の進捗状況、現在、働く婦人の家に公民館の機能を持たせているが、働く婦人の家は元々の名称からもある通り、公民館の機能を十分に果たせるものではない。

地元の自治会から早期に要望があった。まずは場所の選定であり、志度幼稚園の隣接地に建築するということで理解を得ている。

当初要望の公民館の規模からは大きめになりそうである。

今、教育委員会生涯学習課で意見を聞き、今年度中に基本設計を行うものである。

隣にある志度幼稚園、その傍に建築するのであれば、その建物をうまく活用するという方法を検討したい。

基本設計である程度方向が決まり、市議会にも話が出来るようになった段階で地元にも説明をする機会を設けたい。

公民館については、長尾公民館も同じような流れで動いている。

住民に関するものは極力早く整備するようにしたい。

予算的には厳しいが、長尾小学校も老朽化が進み耐震化したい、来年度、当初予算で市議会に実施設計の上程を予定している。

県立高校の統合については、当初、東讃地区は4校を2校にする計画であった。

今回の当市内の3校の統廃合については、新規に新しく学舎を建築するか、現在の学舎をそのまま活用するか、

今の時代において、私は関係の高校の出身であるが市長が動きをとるのはどうかと考えている。

3校の同窓会を中心にし、さぬき市の教育にも関係する話であると相談は受けた。

一方、県では来年度中に敷地まで決定するということを聞いている。

今年度中に大筋のことが決まるのであれば、早いうちにさぬき市

全体の問題として、県知事や県教育長に話をする必要があると。基本的には今の形のものを残し、仮に統合することになっても、そのまま活用するのは決してマイナスにはならないと。

令和9年の開校という予定で進んでいるようだが、人口減少の状況が今のままで継続すると、そこから何年後かには更に減少する。今、拙速に決めてしまうよりも今の形、統合するにしても分校形式でも上手くやっている他県の地域の例もある。

今よりも3校が良くなることが求められる。さぬき市民は全員が県民であるので、県にも内容を十分に理解して欲しいという気持ちで客観的に考えていきたい。また、議論をして貰いたい。

国道11号線については、中国銀行は移転する計画である。

志度寺から出る際には自動車、右折の場合、混雑する。

道路を拡げるのは困難であるが、せめて交差点の改良ができれば直進、右折、左折もスムーズにいくのではないかな。

もう少し具体的な日程、工事の計画が皆さんにお示しができれば協力者が増えると思われるので、時期がきたらお示ししたい。

●鴨部支会の意見・提案

「廃屋の処分、提案である。道路に倒れ掛かり急ぐものは、重機で壊すだけ、で大分解消するのではないかな、予算の関係もあるんで安価に実施できると思われる。」

「東かがわ市の例であるが、廃校となった施設で外国の方の宿泊施設として貸すという話になっていたが、地元の反対があった。市はその後、断りを入れたと。

外国人の場合、個人に対して問題は無くても、国の体制が正常では無いところがあるので、市に対して何か申し入れがある場合には慎重に対応をお願いしたい。」

●市長の回答

廃屋の除却、建物の再活用が出来れば良いが、出来ないものは、法治国家であるので、所有者を確認して取り壊しを実施する。

しかし、遠隔地に居住し協力をして頂けない案件等一定の要件を満たしたものについては、当市は現在は未実施だが、行政代執行も視野に入れないと、時間経過により周辺に対し迷惑になっているというのも困るので、そういった方法も検討しつつ現実的な危険性を低くする方法として伺っておく。

外国の方との付き合いは、グローバル化が進展するなかで避けて通れないものである。当市には450名程度の外国人登録者が居る。多様性を認める必要がある。

住民の方とうまくやっていくにはお互いもっと知っていく必要がある。外国の方と理解を深め、現在の居住者の話を深め、外国と

深い了見で付き合っていく必要があると思う。

もし、具体的な問題があるのであれば話を頂きたい。

外国の方云々というのではなく住民として相応しい方であれば協力していきたい。

以上の質疑を終え、副市長の閉会の挨拶があり閉会した。